

科目名	帽子制作&造花制作 I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン学科	期	通年
コース	ファッション雑貨デザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	堤 淳・西井 亜由美
【科目の到達目標】 フェルト帽体や、天然繊維(麦わら、麻ブレード、シゾール、麻ケンマ等の帽体)を木型への型入れによる基本的な型の帽子制作技術と、基本的な造花制作技術の習得			
【科目の概要】 近年、アパレル分野において服飾雑貨の必要性は向上しており、その中でも帽子の需要は高まっている。この授業では、天然素材を使用した帽子と、造花によるコサージュを制作し、帽子・コサージュの基本知識を身につける。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1・2	オリエンテーション 帽子の型・造花制作の説明 夏帽体選 シゾール、麻ケンマ等、天然素材	31・32	造花③ <紫陽花> カット・染色
3・4	帽子① <夏帽体>プレタ展示作品 デザイン・クラウン型入れ・アプレビニール	33・34	造花③ <紫陽花> コテ当て・組み立て
5・6	帽子① <夏帽体>プレタ展示作品 ブリム型入れ・スチーム・アプレビニール	35・36	造花③ <紫陽花> まとめ・仕上げ
7・8	帽子① <夏帽体>プレタ展示作品 トリミング・仕上げ	37・38	帽子④ <冬ブレード> デザイン・クラウン縫製
9・10	造花① <マーガレット> カット・染色	39・40	帽子④ <冬ブレード> クラウン縫製
11・12	造花① <マーガレット> コテ当て・まとめ・仕上げ	41・42	帽子④ <冬ブレード> ブリム縫製
13・14	帽子② <夏ブレード> デザイン・クラウン縫製	43・44	帽子④ <冬ブレード> トリミング・仕上げ
15・16	帽子② <夏ブレード> クラウン縫製	45・46	造花④ <薔薇> カット・染色
17・18	帽子② <夏ブレード> ブリム縫製・アプレビニール	47・48	造花④ <薔薇> コテ当て・組み立て
19・20	帽子② <夏ブレード> トリミング・仕上げ	49・50	造花④ <薔薇> まとめ・仕上げ
21・22	造花② <カメラ> カット・コテ当て	51・52	帽子⑤ <冬帽体> ベル デザイン・クラウン型入れ・アレンジ
23・24	造花② <カメラ> まとめ・仕上げ	53・54	帽子⑤ <冬帽体> ベル ブリム型入れ・スチーム
25・26	帽子③ <フェルト帽子> キャペリン デザイン・クラウン型入れ・アレンジ	55・56	帽子⑤ <冬帽体> ベル ブリム仕上げ・トリミング
27・28	帽子③ <フェルト帽子> キャペリン ブリム型入れ・スチーム	57・58	帽子⑤ <冬帽体> ベル ブラッシング・仕上げ
29・30	帽子③ <フェルト帽子> キャペリン トリミング・ブラッシング・仕上げ	59・60	修了テスト
【成績評価方法】 課題作品(デザイン・構成・テクニク・色彩感覚・全体の完成度) 課題作品の評価60%、修了テスト・小テスト30%、平常点10% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する			
【教科書・参考書】 デザインの参考には各種ファッション誌、花の写真。技術面はプリントを配布する。 サロン・ド・シャポー学院『新版 造花の作り方』			
【教材・教具】 裁縫道具・クラウン木型・ブリム木型・エッグアイロン・造花コテ各種			

科目名	ヌーベルシャポー I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	120	作成者	山本美千代

【科目の到達目標】

帽子製作の基礎であり、デザインしやすいハットを習得し、自らのデザインを形成する。
また、後期には前期の課題を応用したデザインを展開し帽子業界で通用する物作りをする。

【科目の概要】

不景気と言われる昨今、売れている商品はシンプルで被りやすく、コーディネートしやすい帽子のため、授業では、基本の型をパターンから裁断、縫製、仕上げまで自ら製作することで技術を習得し、習得した技術を用いて、デザイン性のある物まで対応できるようにする。

【授業計画】

90分1コマ		前期	後期
1・2	6方HAT 製作		31・32 キヤスケット 製作 トワール製作
3・4	トワール製作		33・34 パターン修正
5・6	縫製		35・36 縫製
7・8	パターン修正		37・38 ↓ 仕上げ
9・10	縫製		39・40 CAP 製作 パターン
11・12	縫製		41・42 トワール製作
13・14	↓ 仕上げ		43・44 縫製
15・16	平天HAT 製作 パターン		45・46 パターン修正
17・18	トワール製作		47・48 縫製
19・20	縫製		49・50 ↓ 縫製
21・22	パターン修正		51・52 中折れHAT 製作 パターン
23・24	縫製		53・54 トワール製作
25・26	↓ 縫製		55・56 パターン修正 縫製
27・28	キヤスケット 製作 パターン		57・58 縫製
29・30	テスト		59・60 ↓ 仕上げ・テスト

【成績評価方法】

課題作品 前期・後期 各5点の評価60% 授業態度 10% テスト 30%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

各種ミシン(本縫い・二本針・腕) 縫製用具(押え各種など) アイロン 割台 製図用具一式 生地 芯地 その他

科目名	バッグ制作 I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1		講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

バッグ制作の技術を修得、また皮革による雑貨制作を通し、幅広く素材の知識を深め、体系的にファッション雑貨を捉えデザイン・制作の幅を広げる。

【科目の概要】

近年のファッション業界では、ファッション雑貨の占める割合が増加し、皮革素材のアレンジも多様化している。基礎的なトートバッグから学び、バッグの技法3種類を修得する。企画・流通についても学びトレンド分析を元に売り手としてのバッグ・雑貨制作を体験し、各自の作品作りに発展させる。

【授業計画】

90分1コマ		前期	後期
1-2	バッグの構造	パターン練習	31-32 校外授業
3-4	バッグの構造理解	①Tマチのバッグ	33-34 外縫いバッグ 型紙
5-6	バッグの構造理解	②通しマチのバッグ	35-36 型紙
7-8	バッグの構造理解	③横マチのバッグ	37-38 裁断・漉き
9-10	トートバッグ制作	型紙	39-40 芯カット、芯貼り
11-12	持ち手	型紙	41-42 裏地裁断・ポケット制作
13-14		裁断 漉き	43-44 裏地縫製
15-16		縫製	45-46 胴、かぶせ組み立て
17-18			47-48 ショルダーベルト縫製
19-20	↓	縫製	49-50 ↓ 仕上げ
21-22	ポストンバッグ制作	型紙	51-52 仕切り財布 型紙
23-24		裁断 漉き	53-54 裁断、下処理
25-26		縫製	55-56 縫製
27-28		縫製	57-58 ↓ コバ処理仕上げ テスト
29-30	↓	仕上げ・テスト	59-60 プレタ作品 型紙

【成績評価方法】

提出物の評価 60% 期末テスト30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

教科名	アクセサリー I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	前期
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	柿迫恒儀

【授業の到達目標】

アパレル業界内の「アクセサリー/小物」と呼ばれるカテゴリーでの商品作製に必要な技術の習得
 貴金属アクセサリーや革小物を制作し、マテリアルの知識、及びデザイン、造形力を学ぶ。
 様々なマテリアルを理解し、幅広くアイテムを造り出す事の出来る、オリジナリティーのある人材の育成

【授業概要】

各アイテムによる制作行程の理解、デザイン展開、基礎からの技術習得を目指す。
 貴金属アクセサリー等 実物作品を制作する。

【授業計画】

90分1コマ

前期

- 1・2 基本工程の理解、工具の説明
- 3・4 シルバーリング制作
- 5・6 シルバーリング製作
- 7・8 真鍮バングル制作 ～制図
- 9・10 真鍮バングル制作 ～透かしなど成形
- 11・12 真鍮バングル制作 ～透かしなど成形
- 13・14 真鍮バングル制作 ～バングル加工
- 15・16 真鍮バングル制作 ～仕上げ
- 17・18 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～デザイン、制図
- 19・20 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～成形、彫刻
- 21・22 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～成形、彫刻 WAX段階での仕上げ
- 23・24 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～Lost wax casting についての理解
- 25・26 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～キャスト上がり加工 成形
- 27・28 WAX立体ネックレス(ヘッド)制作 ～キャスト上がり仕上げ
- 29・30 テスト・まとめ

【成績評価方法】

作品(技術、デザイン、完成度)50% 試験30%
 平常点(課題全提出、締め切り期日の厳守、授業態度)20%

【教科書・参考書】

配布プリント(制作工程プリント)
 実物見本 サンプル見本

【教材・教具】

バーナー、ローラー等制作機器、彫金工具一式
 ミシン、革縁漉き機、革物工具等

科目名	北欧刺繍	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	前期
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	28	作成者	廣岡均子

【科目の到達目標】

手芸の出来る人材を作りたいと思います(手仕事の楽しさ、大切さ)
刺繍、手芸の基礎技術修得

【科目の概要】

機械の発達において手仕事の大切さ、個人の感性、物を作る楽しさを手芸を通して教えて行きたいです
基礎ステッチ(ドロンワーク、ミラーワーク、ハーダンガ刺繍、クロスステッチ、テープ刺繍)

【授業計画】 180分/コマ

- 1・2 布、糸、はさみ(布30cm×30cm)
基礎ステッチの説明
(ドロンワークフリンジの刺し方)
- 3・4 ミラーワーク、糸、針、歴史の説明
ミラーワーク、刺し始め
- 5・6 テープ刺繍説明
テープのはり方
テープの利用、作品の説明
フリーステッチの説明
(刺繍糸の使い方)
- 7・8 作品の糸始末
- 9・10 ハーダンガ刺繍「歴史民族衣装」
インテリア(テーブルセンターなど)
作品の説明
- 11・12 クロスステッチ説明
図案の仕上がり
寸法の計算方法
参考作品の本を見せて説明
- 13・14 全体のまとめ
期末試験 まとめ

【成績評価方法】

本人の努力の仕方
各技法の修得力
色彩感覚

【教科書・参考書】

『RAKAM』(伊)2015年、『NEW STITCHES』(英)出版社クリエイティブ・クラフツ・パブリッシング・リミテッド
基礎プリント配布、『刺しゅう』雄鶏社 平成6年度、北欧雑誌、私物の本毎回持参

【教材・教具】

刺繍針、はさみ、ものさし、待針、しつけ糸、刺繍糸

科目名	染色	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	前期
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	28	作成者	藤 直晴

【科目の到達目標】

染色技法基礎の修得。デザインの感性を高め作業を計画的に進めて行く能力を養う。

染料と繊維の関係を学ぶ。

色彩感覚を養い染色のおもしろさを知る。

【科目の概要】

アナログ的な手作りを基本とした制作実習。シルクスクリーン、ステンシル、絞り染めなどの技法を使ってTシャツ、トートバッグ、ハンカチ、革素材、生地素材などを染めながら染色技法を修得していきます。

【授業計画】 90分/コマ

- 1-2 染色概論 染色器材、備品の説明。
- 3-4 絞り染め。 縄などで縛り浸染め。 参考書から色々な縛り方の方法を修得。
- 5-6 絞り染め。 絞り方の変化によるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 7-8 シルクスクリーン。 繊細なデザイン原稿を制作し、革、布の素材を創造する。
- 9-10 シルクスクリーン。 繊細なデザイン原稿を制作し、革、布の素材を創造する。
- 11-12 ステンシル
ペーパーワークで描いた下絵がステンシルの特徴を表現出来るかどうかの考察をする。
- 13-14 ステンシル。 カッティングの持つチャープな動きの表現方法。
金箔加工。 箔加工基礎を実習。

【成績評価方法】

提出課題の評価60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『染色の基礎知識』 染織と生活社発行

【教材・教具】

各種染料。 刷毛、筆、伸子、張り木、ステンレスタンク、蒸し器等の染色用具。
ガスコンロ、水洗場等の設備。 シルクスクリーン感光器

科目名	メイキングテクニック	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

洋服のデザイン・パターン・縫製の知識と技術を学ぶことにより、洋服とファッション雑貨との関連性を理解し、トータルで発想、提案できる能力を身につける

【科目の概要】

エプロン・ブラウス・スカートなどを実物製作する。

【授業計画】

90分/コマ

前期

- 1・2 用具説明・エプロンの製図
- 3・4 エプロン縫製(本体)
- 5・6 エプロン縫製(ひも)
- 7・8 ブラウスの製図・裁断・芯貼り
- 9・10 縫製(襟・ポケット)
- 11・12 縫製(襟付け)
- 13・14 縫製(脇線・裾線)
- 15・16 縫製(袖付け)
- 17・18 タイトスカートの製図・裁断・
- 19・20 切り躰
- 21・22 ダーツ地縫い・ファスナー付け
- 23・24 裾始末・裏地縫製
- 25・26 裏地合わせ
- 27・28 ベルト付け
- 29・30 かぎホック・糸ループ付け

【成績評価方法】

課題作品(縫製の正確さ・完成度)60% 理解力(テストなど)30% 平常点(授業態度)10%

【教科書・参考書】

「服飾造形」最新版 上田安子服飾専門学校

【教材・教具】

縫製機器 洋裁道具一式

科目名	ファッションデザイン論	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

ファッションデザインを考えるときに、過去の衣服の変遷や民族による衣服の違いを知ることは必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことをとおしてオリジナルデザインを制作するための基礎を養成することを目標とする。

【科目の概要】

ファッションデザインの変遷と、民族・習慣等による衣服のデザインについて理解を深めるための講義と演習
現在、流通している衣服や歴史上の衣服のファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	「ファッションデザインのもと1」 エレガントとスポーティ(1)	1	「コートのデザイン1」
2	エレガントとスポーティ(2)	2	「コートのデザイン2」
3	「ファッションデザインのもと2」 モダンとフォークロア(1)	3	「コートのデザイン3」
4	モダンとフォークロア(2)	4	「パンツのデザイン1」
5	「シャツ・ブラウスのデザイン1」	5	「パンツのデザイン2」
6	「シャツ・ブラウスのデザイン2」	6	「パンツのデザイン3」
7	「スカートのデザイン1」	7	「ジャンパーのデザイン1」
8	「スカートのデザイン2」	8	「ジャンパーのデザイン2」
9	素材の知識①:平織と綾織の組成	9	「ジャンパーのデザイン3」
10	素材の知識②:天然繊維と化学繊維	10	アクセサリ― 帽子のデザイン
11	素材の知識③:天然繊維と化学繊維	11	「フットウェアのデザイン」
12	「ワンピースドレスのデザイン1」	12	「バッグのデザイン」
13	「ワンピースドレスのデザイン1」	13	「トータル・コーディネート1」
14	「ジャケットのデザイン1」	14	「トータル・コーディネート2」
15	「ジャケットのデザイン2」	15	「トータル・コーディネート3」

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』

WWDジャパン『WWD』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックスケッチ、ガッシュ着彩の用意

科目名	ファッションデザイン&雑貨プランニングⅠ	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1	授業形態	講義 20% 実習80%
時間数	60	作成者	佐山 孝典

【科目の到達目標】

ファッション雑貨商品企画に必要な知識を習得しオリジナル企画を立案する能力を身に付ける

【科目の概要】

ファッションの基礎知識を学び、マーケティングの基本原則に沿って企画を立案する

【授業計画】

90分/コマ

前期		後期	
1	オリエンテーション	1	自己ブランド企画
2	オケージョン	2	マーケットリサーチ
3	トレンド感性	3	ターゲットプラン
4	外部コンテスト	4	情報分析
5	外部コンテスト	5	コンセプトプラン
6	作品発表	6	コーディネートプラン
7	マーケットリサーチ	7	アイテムプラン
8	ファッション雑貨Ⅰ	8	アイテムプラン
9	ファッション雑貨Ⅱ	9	プロモーションプラン
10	ファッションコーディネート	10	仕上げ
11	ファッションコーディネート	11	プレゼンテーション
12	デザイナー研究	12	プレゼンテーション
13	ブランド研究	13	プレゼンテーション
14	テスト	14	テスト
15	まとめ	15	まとめ

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10% 課題作品評価60% 理解力(テストなど)30%

【教科書・参考書】

「ファッションマーケティング」ファッション教育社 ハイセンスなコーディネート

【教材・教具】

ファッション雑誌 マップ作製に必要な用具 着色用具 ノート

科目名	ベーシック	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1		講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	三村逸子

【科目の到達目標】

造形の基礎、①描画②色彩構成③立体構成を通年で学修し、バッグ・帽子・ファッション雑貨分野のデザイン表現の基盤形成となすことを目的としている。

【科目の概要】

造形の基礎学修から、現実的なものづくりへの基本姿勢を修得させる。

【授業計画】

90分1コマ

前期		後期	
1	3原色(+白)から作り出す色	16	スタイリング画の着色
2	イメージと配色	17	スタイリング画選手権 I
3	明るさと鮮やかさ I	18	スタイリング画選手権 II
4	明るさと鮮やかさ II	19	(スタイリング画額装)
5	ファッションイメージとトーン I	20	山折り・谷折り(直線)
6	ファッションイメージとトーン II	21	山折り・谷折り(曲線)
7	デッサン I (身近なかたち)	22	人物クロッキー&雑貨を描く I
8	デッサン II (身近なかたち)	23	人物クロッキー&雑貨を描く II
9	デッサン III (身近なかたち)	24	人物クロッキー&雑貨を描く III
10	デッサン IV (製作した帽子・バッグ)	25	雑貨デザイン画 I
11	ファッションイメージとトーン1	26	雑貨デザイン画 II
12	ファッションイメージとトーン2	27	雑貨デザイン画 III
13	ファッションイメージとトーン3	28	仕様書を意識して描く(デザイン画) I
14	スタイリング画の描き方	29	仕様書を意識して描く(デザイン画) II
15	前期テスト(色彩と描画)	30	後期テスト(描画と着色)

【成績評価方法】

提出物の評価60% 期末テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

中田満雄 北島耀 細野志尚 監修 財団法人日本色彩研究所『デザインの色彩』日本色研事業株式会社 2版15刷 2012年

【教材・教具】

デザインセット(デザインガッシュ絵具/パレット/筆/筆洗)雑巾、画用紙、ケント紙、配色カード(199色)、30センチ定規、雲形定規、ハサミ、ノリ、カッターナイフ、カッティングマット、6B4B2B鉛筆、カネダインボンド、クロッキーノート

科目名	雑貨デザイン	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

・市場におけるファッション雑貨の位置づけ、企画サイクルを理解し、企画提案、販売までの提案ができる人材の育成を目指す

【科目の概要】

・一般のアパレル市場だけでなく、現代発展的なハンドメイドマーケットや、アプリなど個人レベルの物販の市場にも着目し、分析と製作、販売を繰り返すことで、市場を理解しターゲットに沿った企画提案が出来るようになる

90分/コマ

後期

- 1・2 たつの祭りの商品製作:市場リサーチ
- 3・4 たつの祭りの商品製作
- 5・6 ハンドメイドマーケット分析
- 7・8 たつの祭りの商品製作
- 9・10 たつの祭りの商品製作
- 11・12 たつの祭りの商品製作
- 13・14 たつの売り上げ報告、振り返り
- 15・16 会社見学
- 17・18 商品供給の仕組み
- 19・20 上コレ商品製作
- 21・22 上コレ商品製作
- 23・24 プレゼン練習
- 25・26 デザイン発想の仕方、プレゼン練習
- 27・28 プレタデザイン画製作
- 29・30 テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌

【教材・教具】

筆記用具、デザインパッド、彩色用具一式

科目名	コンピュータ演習 I	整理番号	
学科	ファッション雑貨デザイン	期	通年
コース	ファッション雑貨デザイン		昼間
学年	1	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

デザインワーク・プレゼンテーションに必要なコンピュータ技能を習得する。
 さまざまな資料を組み合わせるためのコンピュータデータの扱いを学び、自分の作品をより良く見せるための視覚表現の知識を習得する。

【科目の概要】

IT社会に対応するため、企画デザイン・ビジネスワークに必要なソフトウェアの使い方を修得する。
 講義を行い教員と同時進行でコンピューターを使用してそれぞれの課題を取り組み、
 目的に合わせたソフトウェアを選択し、使いこなせるように指導。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	授業ガイダンス・コンピュータの扱い webブラウザ	1	イメージからのデザインⅡ-① Adobe illustrator/Adobe Photoshop
2	情報収集/イメージマップの作り方 webブラウザ Adobe Photoshop Adobe Illustrator	2	イメージからのデザインⅡ-② Adobe illustrator/Adobe Photoshop
3	情報収集/イメージマップの作り方 webブラウザ Adobe Photoshop Adobe Illustrator	3	イメージからのデザインⅡ-③ Adobe illustrator/Adobe Photoshop
4	雑誌表紙をイメージした表現演習 Adobe Illustrator Adobe Photoshop	4	企画書作成① Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
5	雑誌表紙をイメージした表現演習 Adobe Illustrator Adobe Photoshop	5	企画書作成② Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
6	Adobe Illustrator演習1 Adobe Illustrator基本操作	6	企画書作成③ Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
7	Adobe Illustrator演習2 Adobe Illustrator基本操作	7	企画書作成④ Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
8	Adobe Illustrator演習3 Adobe Illustrator基本操作	8	仕様書制作① Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
9	イメージからのデザインⅠ-① Adobe illustrator/Adobe Photoshop	9	仕様書制作② Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
10	イメージからのデザインⅠ-② Adobe illustrator/Adobe Photoshop	10	仕様書制作③ Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
11	イメージからのデザインⅠ-③ Adobe illustrator/Adobe Photoshop	11	企画デザイン① Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
12	デザインマップ作成① Adobe illustrator/Adobe Photoshop	12	企画デザイン② Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
13	デザインマップ作成② Adobe illustrator/Adobe Photoshop	13	企画デザイン③ Adobe Illustrator/Adobe Photoshop
14	まとめ	14	まとめ
15	テスト	15	テスト

【成績評価方法】

課題点 60% テスト 30% 平常点(授業態度) 10%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

【教材・教具】

パソコン ・USBメモリー ・A4ファイル ・作品